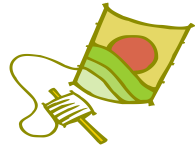


〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 TEL044-813-4705 FAX044-814-0250 http://furusatokan.web5.jp/



明けましておめでとうございます。

今年も地域の皆様に親しまれるふるさと館をめざし、諸事業を推進してまいります。ご理解、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

第2回ふるさと館まつり開催 (大山街道フェスタ参加事業)

昨年度から実施している「大山街道ふるさと館まつり」を今年もフェスタ参加事業として21日(土)から開催いたします。当館でもいくつかのイベントを用意して地域の活性化に寄与したいと考えています。

【ふるさと館まつり】のイベント

- ◆2月21日(土) 歴史探究講座 午前10時から12時 (イベントホール)
- ◆2月21日(日)～27日(金) 第3回企画展・高津のまちアーカイブ展 (展示室・他)

地域が創出するカルチャー展 ～趣味が創り出す感動の世界～

企画展にはふるさと館で活動している団体の方々に参加していただきました。作品にこめられた出展者の熱い思いをご鑑賞ください。

参加団体(順不同)

- ・フラワーサークル リリー
- ・絵たより萌えの会
- ・高津短歌会
- ・高津ペン習字研究会
- ・なかよしクラブ
- ・高津パステル会
- ・天為溝ノ口俳句会



高津のまちアーカイブ展 ～溝口・二子を中心に～

まちの風景 昭和41年頃(1966)



二子・六軒町



溝口・亀屋十字路

ふるさと高津の魅力再発見をテーマに溝口・二子を中心に移り変わるまちの風景を紹介いたします。展示会当日は高津区役所所蔵の写真を展示します。ふるさとへの愛着と理解につながる展示になれば幸いです。

◆展示期間 平成27年 **2月21日(土)～27日(金)** (入場無料)

◆展示時間 **午前10時から午後5時まで**

“ふるさと館まつり” イベント

第3回 歴史探究講座参加者の募集

◆テーマ 「大山道の石造物を訪ねて」～庚申塔を中心に～

石造物入門 パート3です。大山道には庚申塔などの石造物が多数あります。それらの石造物がどのように分布し、どのような特徴をもっているか、収集した写真・地図をもとに講演していただきます。

- ◇日時: 2月21日(土) 午前10時から12時
- ◆講師: 中平 龍二郎氏(大山道研究家)
- ◇会場: 大山街道ふるさと館 イベントホール(2階) ◆定員: 60人(先着順)
- ◆参加費: 300円(資料代含む) ◇申込み: 1月10日(土)から(ふるさと館まで)

街道学習講座“街道歩き”が終了 ～深秋の大山街道を訪ねて～

赤坂御門跡をスタートした「街道歩き」、今年は青葉台が出发点となり、鶴間までおよそ12キロを歩きました。

- ① **10月29日(水)(青葉台から長津田)まで(約3km)**
秋晴れの中、中平龍二郎さんを講師に30名が参加。午後1時、青葉台駅を元気に出発。恩田橋を渡って、坂を上りきった所に長津田石造物群跡があります。当日、やっこのことで、一体だけかろうじて見つけることができました。
- ② **11月12日(水)(長津田から町田辻)まで(約4.5km)**
街道学習2回目。長津田宿は、江戸赤坂から歩く人々が泊まる宿の一つです。上宿、下宿に立派な常夜灯が残され、当時を偲ぶことができました。
- ③ **11月26日(水)(町田辻から鶴間)まで(約4.6km)**
“秋霖”という言葉がぴったりの小雨模様の中、南町田駅を出発。境川を渡ると渡辺山が宿泊したという、まんじゅうや跡に着きます。この辺一帯を下鶴間宿といいます。下鶴間宿は、江戸からちょうど10里。大山街道と八王子往還の要衝の地になります。大和市下鶴間ふるさと館では、明治初期の集落の様子を写真で垣間見ることができました。



第2回 ふるさと発見講座が終了 ～川崎市が生んだ詩人佐藤惣之助～

12月10日(水) 多摩区在住の演劇作家、小川信夫氏を講師に迎えて開催しました。前衛詩人



「佐藤惣之助」は、昭和の初期から太平洋戦争にかけ、「赤城の子守唄」「人生の並木路」や「湖畔の宿」など歌謡曲の作詞家に変身します。その動機を二人の妻との関係や時代背景の分析を通してお話していただきました。参加者は臨場感のある語り口と時にはユーモアを交えながらの講話に時間の経過も忘れて聞き入っていました。

現在でも「惣之助」を偲んで、5月の命日には大々的な句会が開かれているということです。なお、この講演は「川崎郷土・市民劇第5弾」―華やかな散歩―と題して、5月に川崎市多摩市民館と川崎市教育文化会館で公演の予定です。





子ども大山街道探検クラブの活動

～11月 「めんどり」の会のお話を聞いて～

11月の探検クラブは、高津図書館で読み聞かせの活動をされている「めんどり」グループのみなさんに民話などを読み聞かせをしていただきました。

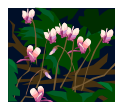


グループのみなさんは、はんでんを着たり、音楽や楽器などを使ったりして場の雰囲気工夫していました。話を聞き終わった後、子どもたちは『二子の渡し』がおもしろいと思いました。ふたごの兄弟がお母さんのためにいっしょうけんめい働いていたのがじーんとききました。二子の



▲真剣な表情で

▲紙芝居「二子の渡し」 由来がよく分かりました。」など感想を述べていました。語り手に吸い寄せられるようにお話を聞いている子どもたちの姿が印象的でした。



～12月 うまくまわるかな！コマ回しに挑戦～

今年最後の探検クラブは地域のベーゴマ名人、宮田守さんを講師にお招きして



「コマ回し」に取り組みました。最初に大山のコマや全国のコマを紹介してもらいました。

次に、コマ回しに挑戦です。子どもたちは、最初にひもの巻き方など回すための基本を聞いた後、思い思いの場所でコマ回しに興じていました。



▲早く回したいな

活動の後半はいよいよ「ベーゴマ」に挑戦です。通常のコマと違いひもの巻き付けに悪戦苦闘、何度も何度もやり直しをしていました。それだけに成功した時の喜びは格別なのでしょう。大きな歓声がイベントホールに響いていました。もう少し時間を確保してあげたい活動でした。

<高津区の歴史資産> “二子の渡し体験”が開催

11月3日（祝日）高津区役所地域振興課の主催で「二子の渡し体験」が行われました。



この事業は平成23年（2011）、86年ぶりに歴史を学び、体験することを目的に1日限定で復活したそうです。当日は心地よい多摩川を渡る風を浴びながら、一艘に8人乗船し、二子と対岸の世田谷区を往復していました。

また、二子神社の境内では「渡しの紙芝居」、「あゆのぬいぐるみ色つけ体験」や「昔の遊び」などのイベントが行われ大勢の人々にぎわっていました。



※お詫びと訂正

ふるさと館だより 32号、「厳かにお会式万灯パレード」で記述にミスがありました。興林山宗隆寺に訂正いたします。

大山街道（二子・溝口宿）をゆけば

二子・溝口宿の主な史跡をシリーズで紹介いたします。街道散策の折の参考になれば幸いです。

“第4回 光明寺と二子学舎”

（所在地：高津区二子）

二子の町のほぼ中央に「光明寺」があります。甲斐武田氏の家臣小山田宗光は、武田氏滅亡後、出家して宗専を名のり、慶長6年（1601）二子塚（現南二子）付近に開創しました。その後江戸幕府によって大山街道が整備され、街道筋に沿って二子村が形成されてゆくと共に光明寺も存立してきました。



▲光明寺

光明寺には、さまざまな文化財が伝わっています。「絹本着色親鸞聖人画像」「絹本着色聖徳太子画像」や「絹本着色三朝七高僧画像」

は川崎市の重要歴史記念物に指定されています。境内の梵鐘は江戸末期から明治にかけ街道で継立を负担する農民に正確な時刻を知らせる「時の鐘」としても使われ、多くの人々に親しまれていました。

明治になって初めて学校ができた時、お寺の本堂は教室になり「二子学舎」として近在の子どもたちの教育にあたりました。近代小学教育の礎となったことでも知られています。



▲光明寺境内の梵鐘



—久本小学校で「地域の寺子屋」事業—

地域による子どもたちの学力向上や豊かな人間性の育成を目的に、高津区久本小学校



がモデル校となり、10月に「地域寺子屋事業」が行われました。

「私たちのまち、高津を知る」というテーマで、ふるさと館のスタッフ（対馬、松田）2名が事業に協力し二ヶ領用水や大山街道の歴史について子どもたちに話をしました。



—館案内図—



申込み・問合せ 大山街道ふるさと館

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

電話：044 (813) 4705 FAX：044 (814) 0250

開館 時間 ・9：30～21：30

休 館 日 ・年末年始（12月28日～1月4日）

施設点検日 ・毎月 最終金曜日

床 清 掃 ・奇数月 第3水曜日

※施設点検日、床清掃日は会議室等の利用ができません。

※駐車スペースがありませんので、お車での来館はご遠慮ください。

JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分